

番号	指摘箇所	
	頁	行

208	238頁	
-----	------	--

コラム
もつと
知
りたい

沖縄戦・原爆投下・シベリア抑留

連合国側が武器を持たない日本の民間人に対して行った戦時国際法違反の戦争犯罪。それら戦勝国の行為は全く裁かれていない。

集団自決の悲劇

1944（昭和19）年7月、日本人移住者が数多く住むサイパン島が陥落しました。ここでは、敵の手に捕まるとどのような目に遭うかが、住民に目撃されていました。数百人の住民が米軍によって飛行場の奥に追い込まれ、女性だけが別の場所に連れ出されると、残った子供と老人はガソリンをまかれ、生きのまま焼かれていきました。その様子を見ていた人々は、マツピ岬に向かい、断崖絶壁から次々と海に身を投げました。

1945（昭和20）年3月末、アメリカ軍は慶良間諸島の座間味島、渡嘉敷島などに猛烈な空襲と艦砲射撃を加えました。米軍



沖縄・摩文仁の海岸の岩場に追い詰められた日本兵や住民に火炎放射器を浴びせる、アメリカ軍戦車。(1945年6月)

上陸する中で、追い詰められた住民が、家族ぐるみで集団自決する悲劇が起きました。日本人の集団自決は、ソ連軍に侵攻された満州でも、樺太でもおこりました。

4月、沖縄本島に上陸したアメリカ軍は、逃げまどう住民の頭上に、雨あられと爆弾を降り注ぎました。洞窟に逃げ込んだ人々も、火炎放射器で容赦なく攻撃されました。こうして、9万4000人の沖縄島民が、沖縄戦の犠牲となりました。

4月6日、日本がつくった世界最大の軍艦である戦艦大和が、沖縄救援のため派遣されました。しかし、鹿児島県南方の東シナ海でアメリカ軍の攻撃にあい、大爆発を起こして沈没しました。船体は今も、水深360メートルの海中に眠っています。

20世紀最大の戦争犯罪

戦時国際法では、戦争は正規の兵士が定められたルールに則って戦うものであり、武器を持たない一般住民に対する無差別爆撃は、戦時国際法に違反する戦争犯罪です。

しかし、沖縄でも、本土への大都市爆撃でも、多くの民間人が標的にされて死亡しました。1945年3月の東京大空襲の際、攻撃

コラム
もつと
知
りたい

戦時国際法と戦争犯罪

戦争の惨禍を少しでも減らすため、非戦闘員の殺傷などを禁じた戦時国際法のルール。しかし、このルールはしばしば破られた。

戦時国際法の考え方

人類は長い歴史の中で国家や民族の利害の衝突から、絶え間なく戦争をくり返してきました。そこで、戦争のやり方を国際的に決めたルールの制約のもとに置こうとする知恵が生まれました。このルールを戦時国際法といいます。1907年にオランダで締結されたハーグ陸戦法規は、その代表例です。

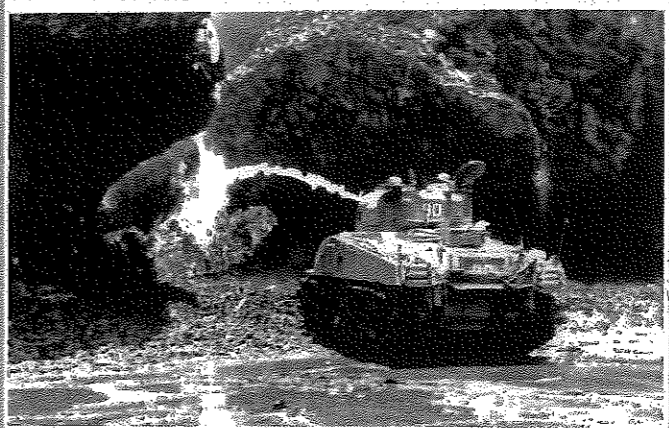
戦時国際法では、戦闘員以外の民間人を殺傷したり、捕虜となった敵国の兵士を虐待することは、戦争犯罪として禁止されました。一方、軍服を着ていない者に武器を持たせたり戦闘に参加させることは禁じられ、それを捕らえた側には、一定の手続き

の後、スパイやゲリラとして処刑することも認められていました。

しかし、二つの世界大戦を通じて、特に第二次世界大戦では、これらのルールはしばしば破られました。戦争で非武装の人々に対する殺害や虐待を一切しなかった国はありませんでした。日本軍も、戦争中に侵攻した地域で、捕虜となった敵国の兵士や非武装の民間人に対し、不当な殺害や虐待をおこなって多大な惨禍を残しました。

沖縄戦の悲劇

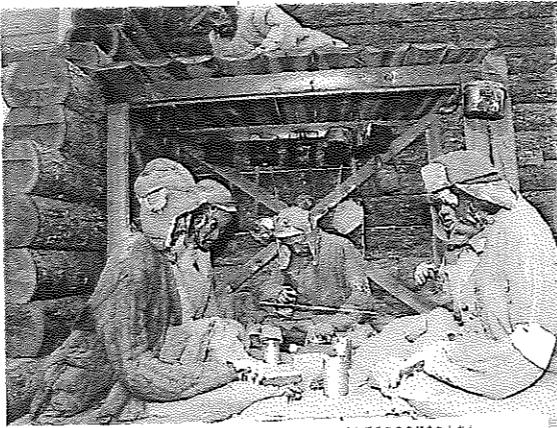
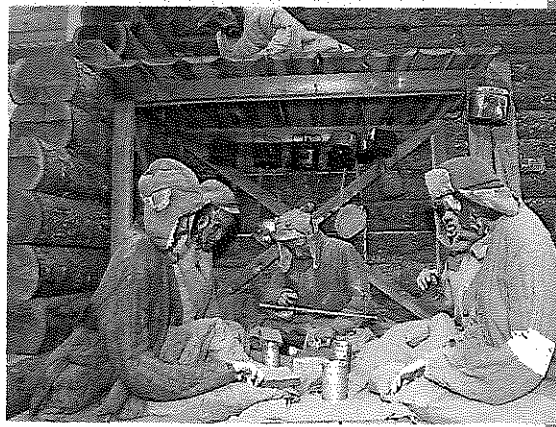
1945（昭和20）年3月末、アメリカ軍は慶良間諸島の座間味島、渡嘉敷島などに猛烈な空襲と艦砲射撃を加えました。米軍が上陸する中で、追いつめられた住民が、家族ぐるみで集団自決する悲劇が起りま



沖縄・摩文仁の海岸の岩場で、追いつめた兵隊や住民に火炎放射を浴びせるアメリカ軍戦車。(1945年6月)

した。日本人の集団自決は、ソ連軍に侵攻された満州でも、樺太でもおこりました。

4月、沖縄本島に上陸したアメリカ軍は、逃げまどう住民の頭上に、雨あられと爆弾を降り注ぎました。洞窟に逃げ込んだ人々も、火炎放射器で容赦なく攻撃

番号	指摘箇所		原文	修正文
	頁	行		
208	238頁 - 239頁		<p>238頁 5行目 4月、沖縄本島に上陸したアメリカ軍は、...</p> <p>238頁 右18-22行目 戦時国際法では、戦争は正規の兵士が定められたルールに則って戦うものであり、武器を持たない一般住民に対する無差別爆撃は、戦時国際法に違反する戦争犯罪です。しかし、</p> <p>239頁 左6-15行目 アメリカでは20世紀の100大ニュースの第1位に「原爆投下」が、第2位に「パール・ハーバー」(日本による真珠湾攻撃)が選ばれました。 ところが、アメリカ人の6割以上が、「原爆投下は正しかった」と答えています(2009年調査)。その理由は、「戦争を早く終わらせるために必要だった」、「原爆を落とさなければアメリカ人100万人が命を落とした」などという根拠のないものです。</p> <p>命令を受けたB 29のパイロットは、「それは国際法違反ではないか」と司令官に聞いたのだといわれています。東京大空襲では、一夜にして10万人が焼け死にました。</p> <p>アメリカでは20世紀の100大ニュースの第1位に「原爆投下」が、第2位に「パール・ハーバー」(日本による真珠湾攻撃)が選ばれました。</p> <p>ところが、アメリカ人の6割以上が、「原爆投下は正しかった」と答えています(2009年調査)。その理由は、「戦争を早く終わらせるために必要だった」、「原爆を落とさなければアメリカ人100万人が命を落とした」などという根拠のないものです。原爆投下による死者は、広島で約20万人、長崎では約7万人で、犠牲者は一般市民でした。原爆投下は、その被害の規模においても、20世紀最大の戦争犯罪といえるでしょう。</p> <p>1992年、アメリカの国立スミソニアン博物館で「原爆展」の計画が進められました。先の大戦について、日本は自衛的側面から開戦に至った、と記された企画書</p>	<p>が明らかになると、在郷軍人会を中心とする反対運動が起こり、企画は中止されました。</p> <p>シベリア抑留</p> <p>8月9日、ソ連は日本との中立条約を無視して満州に侵入し、日本の民間人に対して略奪、暴行、殺害を繰り返しました。</p> <p>さらに、捕虜を含む約60万人の日本人をシベリアに連行して、過酷な労働に従事させ、約6万人が死亡しました。</p> <p>これら連合国側の戦争犯罪は、一切、裁かれることはありませんでした。</p> <p>5 縄島民が、沖縄戦の犠牲となりました。</p> <p>4月6日、日本がつくった世界最大の軍艦である戦艦大和が、沖縄救援のため派遣されました。しかし、鹿児島県南方の東シナ海でアメリカ軍の攻撃にあい、大爆発を起こして沈没しました。船体は今も、水深360メートルの海中に眠っています。</p> <p>20世紀最大の戦争犯罪</p> <p>沖縄でも、本土への大都市爆撃でも、多くの民間人が標的にされて死亡しました。</p> <p>1945年3月の東京大空襲の際、攻撃命令を受けたB 29のパイロットは、「それは戦時国際法違反ではないか」と司令官に聞いたのだといわれています。東京大空襲では、一夜にして10万人が焼け死にました。</p> <p>原爆投下による死者は、広島で約20万人、長崎では約7万人で、犠牲者は一般市民でした。原爆投下は、その被害の規模においても、20世紀最大の戦争犯罪といえる</p> <p>るでしょう。</p> <p>シベリア抑留</p> <p>8月9日、ソ連は日本との中立条約を無視して満州に侵入し、日本の民間人に対して略奪、暴行、殺害を繰り返しました。さらに、捕虜を含む約60万人の日本人をシベリアに連行して、過酷な労働に従事させ、6万人以上が死亡しました。</p> <p>これら連合国側の戦争犯罪は、一切、裁かれることはありませんでした。</p>
			 <p>ソ連によるシベリア抑留者の収容所 舞鶴引揚記念館の復元展示。きびしい労働に加え、栄養価の低い食事と十分な暖房などにより、6万人以上が現地で死亡した。</p>	 <p>ソ連によるシベリア抑留者の収容所 舞鶴引揚記念館の復元展示。きびしい労働に加え、栄養価の低い食事と十分な暖房などにより6万人以上が現地で死亡した。</p>

番号	指摘箇所		原文	修正文
	頁	行		
209	240		世界が見た大東亜戦争 太平洋戦争について一面的な見解を十分な配慮なく取り上げている。	次頁参照

番号	指摘箇所	
	頁	行
209	240	

原文

修正文

コラム 外の目から見た日本

コラム 外の目から見た日本

世界が見た大東亜戦争

世界が見た大東亜戦争

欧米とアジアを敵にする不遜

世界の学者や政治家は、日本が戦った大東亜戦争をどのように見ているのでしょうか。

アメリカのコーネル大学の歴史学者マーク・セルデン教授は、近代日本が置かれた環境の中に日本を位置づけ、戦争に敗北した理由を次のように論じました。

「19世紀後半からの歴史を見れば、アジアは西側植民勢力による分割に直面していた。日本にとっては、周囲を見渡せば、植民勢力がひたひたと押し寄せているという現状だ。世界に認められる国になるということは、植民帝国になることを意味していたのだ。この過程で、日本はアジアの国々と欧米を同時に相手にするという傲岸不遜に陥った。」

ビルマの元首相のパー・モウは、「歴史的に見るならば、日本ほどアジアを白人支配から離脱させることに貢献した国はない。しかし、日本ほど誤解を受けている国はない。もし日本が武断的独断とうぬぼれを退け、開戦当時の初一念を忘れなければ、と、日本のために惜しまれる」と述べました。

追い詰められた防衛戦争

一方、戦争に追い詰められた日本を同情的に見るとらえ方もあります。

ハワイ大学の歴史学教授ジョイス・レブラは、次のように指摘します。

「太平洋戦争は、西欧資本主義流の帝国主義のたんなる日本版ではなく、それにもまして西欧諸国の進出によって脅威を受けた日本が、自国の存亡に関わる權益を防衛するための戦いであった。」

韓国の日本研究者朴鉄柱は、さらに具体的に開戦の経過にふれています。

「大東亜戦争は決して日本から仕掛けたものではなかった。(日本は)平和的外交交渉によって事態を打開しようと最後まで取り組んだ。最後はハル・ノートをつきつけられ、「座して死を待つよりは、戦って死すべし」というのが、開戦時の心境であった。」

戦争中、日本に協力した中国南京政府の指導者・汪兆銘の夫人の陳璧君は、「夫、汪兆銘が日本と結んだことは間違っていない。もし、夫が日本の傀儡だと言うなら、蒋介石はアメリカの傀儡で、毛沢東はソ連の傀儡ではないか」と言いました。

「日本は極東の侵略者」

カリフォルニア大学のゲリー・ナッシュ教授が編纂したアメリカの歴史教科書は次のように書いています。

「野心的な軍部指導者たちに支配された日本は、ヨーロッパでヒトラーがそうであったように、極東では侵略者だった。主要な世界強国を目指す日本は、天然資源、とくに石油はのどから手が出るほど欲しかった。このため、これらの天然資源を確保するためには戦争のリスクをいとわなかった。」

この教科書は、日本を追い詰めたアメリカの経済制裁についてのべたあと、次のように書いています。

「アメリカ政府としては、日本がこうした重要な資源をカットされることで交渉を余儀なくされ、危機を回避できると考えたが、話し合いは進展しなかった。日本は中国から撤退はしなかったし、1940年から1941年には仏領インドシナを占領した。」

日本敗北の原因

アメリカのコーネル大学の歴史学者マーク・セルデン教授は、近代日本が置かれた環境の中に日本を位置づけ、戦争に敗北した理由を次のように論じました。

「19世紀後半からの歴史を見れば、アジアは西側植民勢力による分割に直面していた。日本にとっては、周囲を見渡せば、植民勢力がひたひたと押し寄せているという現状だ。世界に認められる国になるということは、植民帝国になることを意味していたのだ。この過程で、日本はアジアの国々と欧米を同時に相手にするという傲岸不遜に陥った。」

ビルマの元首相のパー・モウは、「歴史的に見るならば、日本ほどアジアを白人支配から離脱させることに貢献した国はない。しかし、日本ほど誤解を受けている国はない。もし日本が武断的独断とうぬぼれを退け、開戦当時の初一念を忘れなければ、と、日本のために惜しまれる」と述べました。

存亡の淵に立った日本

一方、戦争に追い詰められた日本を同情的に見るとらえ方もあります。ハワイ大学の歴史学教授ジョイス・レブラは、次のように指摘しています。

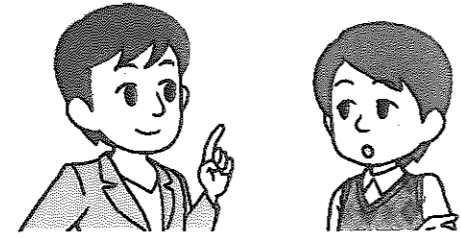
「太平洋戦争は、西欧資本主義流の帝国主義のたんなる日本版ではなく、それにもまして西欧諸国の進出によって脅威を受けた日本が、自国の存亡に関わる權益を防衛するための戦いであった。」

番号	指摘箇所		原文	修正文
	頁	行		
210	241		<p>時代区分についての兄弟問答</p> <p>戦前期の日本について誤解するおそれのある表現である。</p>	<p>次頁参照</p>

番号	指摘箇所	
	頁	行
210	241	

第5章のまとめ 近代(Ⅱ)とはどんな時代か

■時代区分についての兄弟問答



弟 この時代、日本はずっと戦争をしてたみたいだね。

兄 二つの世界大戦を経験した、大変な時代だった。日本はいつも受動的な立場で、みずから戦争をしかけたことはない。

弟 でも、日本が「パール・ハーバー」(真珠湾攻撃)で、先に戦争を始めたといわれているでしょ。

兄 日本は追い詰められて、たたかわなければならぬように仕向けられたんだよ。

弟 どうして、かつて日本と結んでいたこともあるイギリスやアメリカと、そんなに対立したのかなあ?

兄 世界恐慌がおこってから、どの国も生き残りに必死だった。植民地の多い「持てる国」はブロック経済で生き残り、「持たざる国」は商品を輸出しようとしても、高い関税をかけられて、買ってくれなくなった。日本が生きのびる道は、欧米の植民地になっていた国々を独立させ、その豊富な資源を獲得することだった。

弟 だから、欧米は、日本を目の敵にしたんだ。

兄 自由貿易があたりまえになった今では、当時を想像するのは難しいと思う。当時の人の目線に立って見ないと、歴史を学んだことにはならないね。

■時代比較の問題

次の二つの事項について比較して、その共通点と違いをノートにまとめてみましょう。

- (1) 第一次世界大戦と第二次世界大戦
- (2) 共産主義とファシズム
- (3) 近代(Ⅰ)の時代と近代(Ⅱ)の時代

■「ひとこと」作文

(1) 近代(Ⅱ)の時代を学んで、どんなことが最も強く印象に残りましたか。

近代(Ⅱ)とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。

この「〇〇」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみましょう。

<例> 戦争 全体主義 民族独立

(2) 今度は、「近代」100年についてきます。

近代とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。

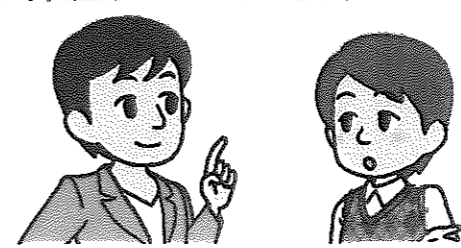
この「〇〇」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみましょう。

■意見交換会

「世界が見た大東亜戦争」のコラムを読んで、考えたことを出しあひましょう。

第5章のまとめ 近代(Ⅱ)とはどんな時代か

■時代区分についての兄弟問答



弟 この時代は、戦争がつづき、ぼくたちのような子供まで戦っていたみたいだね。

兄 軍人や兵士だけが戦闘していたころとはちがいで、「総力戦」といって、すべての国民が戦争を支援しなければならなくなった。女性や子供は兵器工場ではたらき、銃弾をつくって戦線を支えた。

弟 一般市民の被害も多くなったよ。

兄 戦車や爆撃機が開発されて、ふつうの人々が暮らす市街地も破壊されるようになったんだ。

弟 イギリスとは同盟を結んでいたこともあったのに、どうして、対立することになったんだろう。

兄 世界恐慌がおこってから、どの国も生き残りに必死だった。すでに多くの植民地を持っている国はブロック経済で生き残ることができるけど、持たざる国は商品を輸出しようとしても、高い関税をかけられて、どの国も買ってくれなくなった。後にアメリカとの関係が悪化したので、さらに石油や鉄など原料も入ってこなくなった。日本は生きのびる道をさがして、ヨーロッパの植民地になっていた国々を味方につけ、その豊富な資源と市場を活用しようと考えたんだ。

弟 日本のように資源が少ない国は、原料を海外から輸入して商品に加工し、それを輸

出して成り立っているんだね。

兄 自由貿易があたりまえになった今では、当時を想像するのは難しいと思う。戦争に至る経緯は、当時の人の目線に立って見ないと、なかなか分からないね。

■時代比較の問題

次の二つの事項について比較して、その共通点と違いをノートにまとめてみましょう。

- (1) 第一次世界大戦と第二次世界大戦
- (2) 共産主義とファシズム
- (3) 近代(Ⅰ)の時代と近代(Ⅱ)の時代

■「ひとこと」作文

(1) 近代(Ⅱ)の時代を学んで、どんなことが最も強く印象に残りましたか。

近代(Ⅱ)とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。

この「〇〇」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみましょう。

<例> 戦争 全体主義 民族独立

(2) 今度は、「近代」100年についてきます。

近代とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。

この「〇〇」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書きみましょう。

■意見交換会

「世界が見た大東亜戦争」のコラムを読んで、考えたことを出しあひましょう。

番号	指摘箇所		原文	修正文
	頁	行		
211	242		「二十一か条の要求」中、「 <u>日中間の交渉の結果</u> 」 二十一か条の要求について誤解するおそれのある表現である。	下線部 削除
212	242		「ワシントン会議」中、「日本は条約にのっとり国際協調に努めた。だが日英同盟が破棄されたことは」 ワシントン会議について誤解するおそれのある表現である。	日本は条約にのっとり国際協調に努めた。だが日英同盟が <u>廃棄</u> されたことは
213	242		「満州国建国」中、「 <u>関東軍は日本人居留民の保護を目的に</u> 」 誤りである。	関東軍は <u>勢力圏の拡大</u> を目的に
214	244	6	連合軍総司令部 同頁「厚木飛行場におけるマッカーサー」では、「連合国軍」としており、用語が不統一である。	連合国軍総司令部
215	245	13 - 20	日本国憲法は、 <u>世襲の天皇を</u> ・さらに国民主権をうたい・そのための戦力をもたないと定めたことでは、世界で他に例を見ないものとなった。 日本国憲法の基本原則について理解し難い表現である。	日本国憲法は、天皇を・さらに国民主権をうたい・そのための戦力をもたないと定めたことでは、世界で他に例を見ないものとなった(⑥)。 ⑥ 国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を日本国憲法の三大原則とよぶ。

番号	指摘箇所		原文	修正文
	頁	行		
216	246 - (247)		<p>占領下の検閲と東京裁判</p> <p>占領下の検閲及び東京裁判に関して誤解するおそれのある表現である。</p> <p>246頁左7～8行目 歴史に例がありません。</p> <p>246頁右6行目 占領軍は、占領直後から・</p>	<p>次頁参照</p> <p>226頁16行目に注を追加 切りつめた生活を余儀なくされた(①)。 ① このころから、新聞や雑誌に対する検閲が強化された。 227頁 注 ①→②</p>